

3 - 7 1989年3月6日の銚子付近の地震 (M5.9)

On the Earthquake (M5.9) in the Near Choshi City, March 6, 1989

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1989年3月6日23時39分頃、銚子付近でM5.9(深さ61km)の地震が発生した(第1図)。最大震度は5(銚子)、最大有感距離は約370km(酒田)となった。この地震では、佐原市を中心に1市2町で若干の物損が発生した。

メカニズム解は東西圧縮の逆断層型である(第2図)。

余震活動は割合活発で4月23日まで続いてほぼ終息、この期間の余震数は74個、このうち3個が有感となった。また、最大余震は3月18日01時37分のM5.2(深さ58km)、この最大震度は3(銚子・千葉・東京)であった(第3図)。そして、本震は今回の活動域のほぼ南端に位置する形となった。なお、5月に入ってから余効とみられる活動が時おり観測された。

この周辺では、昨年2月13日にM5.1の地震が発生(今回のM5.9の地震の南約10km)してから、全体の活動域が次第にこの北方に移る形で経過したが、12月に入って地震の発生がまったくみられなくなった。そして、本年1月上旬始めに一時的な発生があったものの、これ以降再びきわめて静かな状態が続き、3個の先行地震(注2)を伴う今回の活動に至った(第4図・①-①の太実線内及び①)。なお、同図①の地震は①の太実線(五角形)内に示した地震に対応する。第4図・②についても同様である。

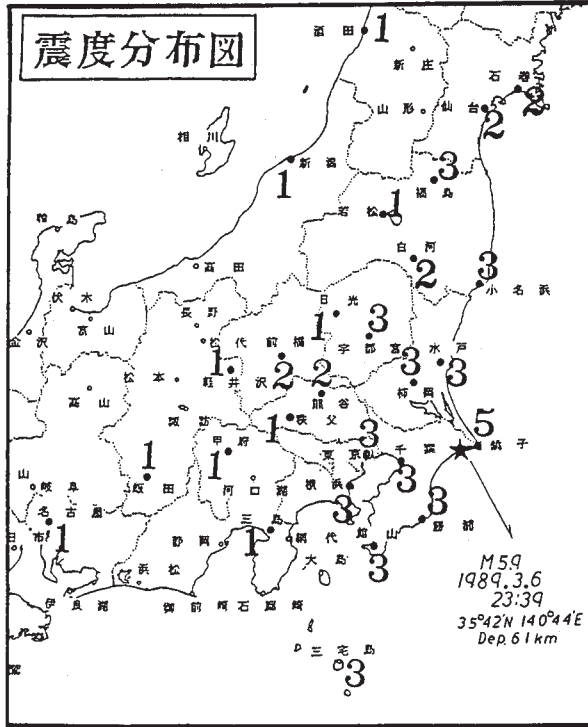
また、この付近におけるM5.5以上の地震発生状況をみると、1926年1月1日からでは今回のものを含め7個と少なく、今回のM5.9は1973年9月30日(M5.9)と同年10月1日(M5.8)以来のものである(第4図・②)。

注1: 1989年1月1日からの資料は暫定。

注2: 先行地震は、2月19日のM3.4とM3.0及び2月24日のM2.4である。

銚子付近の地震

1989.3.6 23:39 M5.9



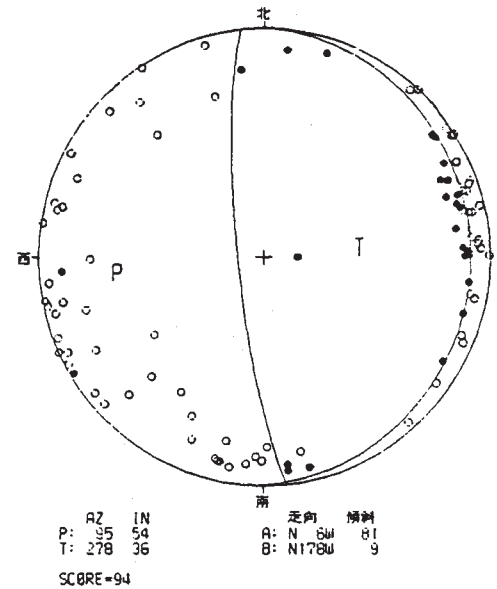
各地の震度	
5	銚子
3	千葉 水戸 東京 小名浜 宇都宮 横浜 三宅島 鉧山 福島 勝浦 柿岡
2	熊谷 前橋 仙台 石巻 白河
1	新潟 甲府 飯田 名古屋 日光 秩父 軽井沢 若松 酒田 三島

被害：
一部地区で水道管・農業用水管に亀裂のほか屋根瓦落損。

第1図 銚子付近の地震の震度分布 (1989年3月6日:M5.9)

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake in the near Choshi City (Mar. 6, 1989 : M5.9).

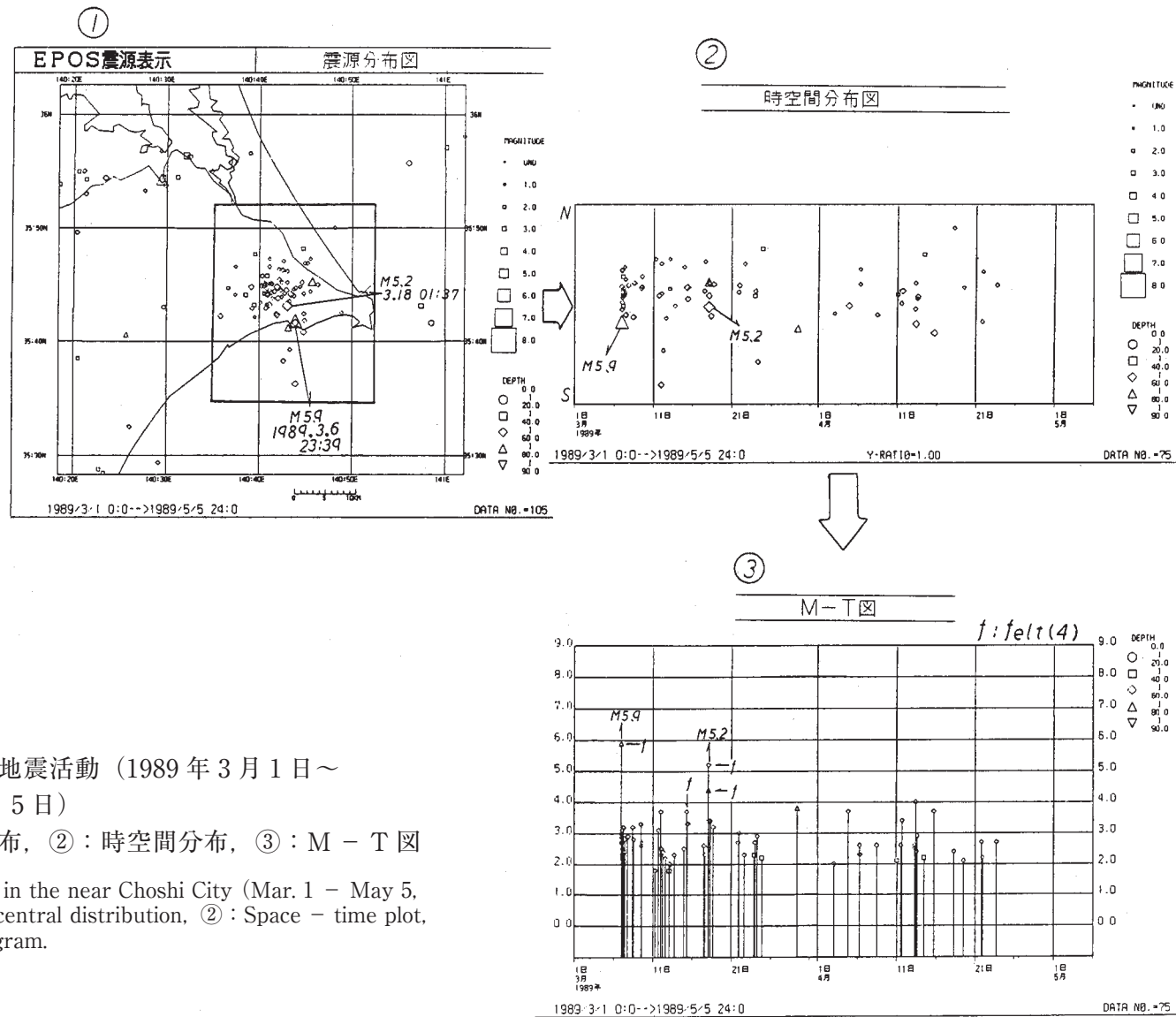
メカニズム解
上半球投影
● up
○ down
M5.9 3/6 23:39



AZ IN
P: 95 54
T: 278 36
SCORE=94
南 走向 傾斜
A: N 6W 81
B: N178W 9

第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影) ●:押し, ○:引き

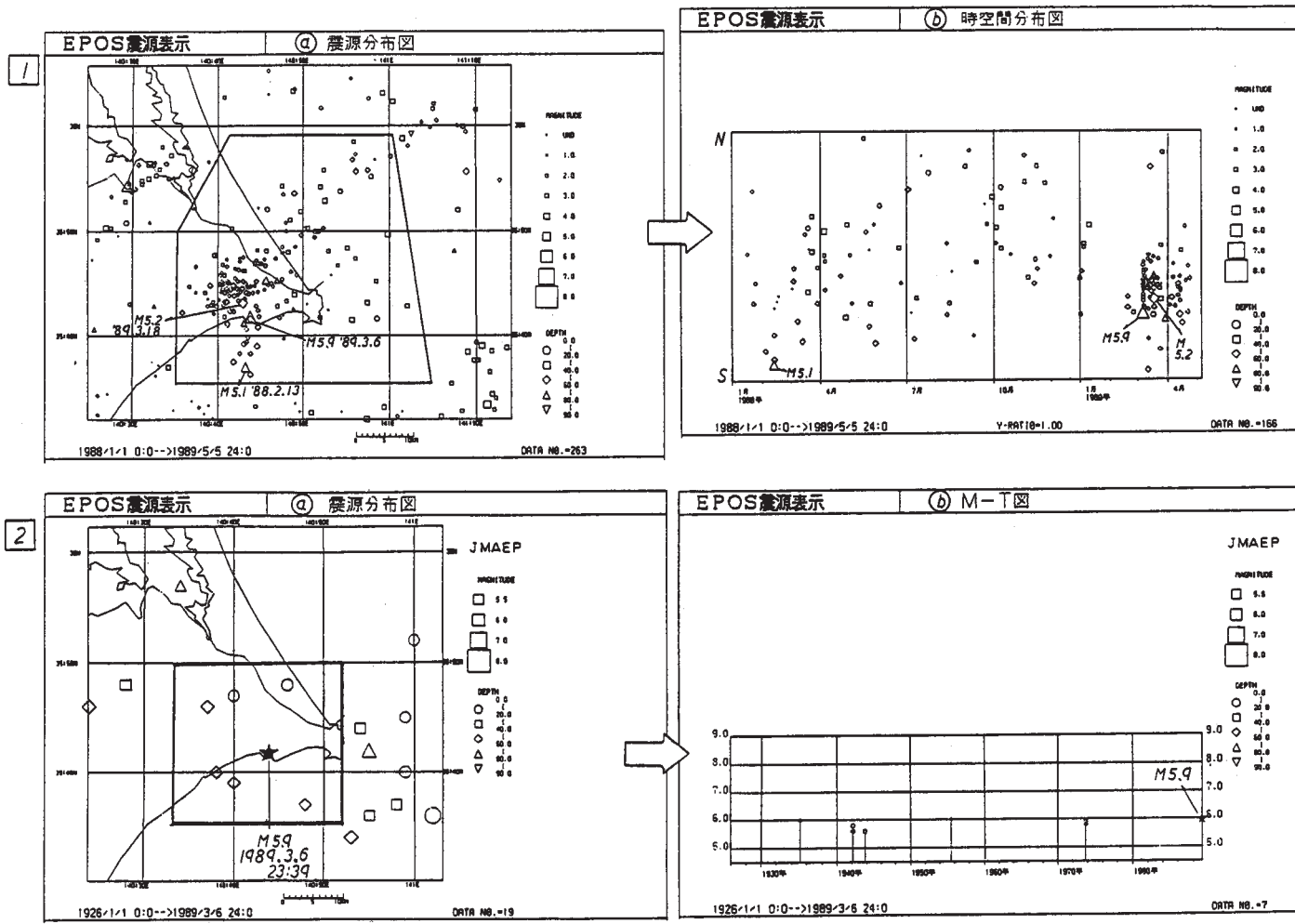
Fig. 2 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere).
● : up, ○ : down.



第3図 銚子付近の地震活動 (1989年3月1日～1989年5月5日)
 ①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M - T 図

Fig. 3 Seismic activity in the near Choshi City (Mar. 1 - May 5, 1989). ①: Epicentral distribution, ②: Space - time plot, ③: M - T diagram.

(気象庁のほか東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センターのデータ使用)



第4図 銚子付近の地震活動

①：1988年1月1日～1989年5月5日 (Ⓐ：震央分布・Ⓑ：時空間分布)

②：1926年1月1日～1989年3月6日・M5.5以上 (Ⓐ：震央分布・Ⓑ：M-T図)

Fig. 4 Seismic activity in the near Choshi City.

①：Jan. 1, 1988 - May 5, 1989 (Ⓐ：Epicentral distribution, Ⓑ：Space-time plot).

②：Jan. 1, 1926 - Mar. 6, 1989 M ≥ 5.5 (Ⓐ：Epicentral distribution, Ⓑ：M-T diagram).